

## 世界の最先端化粧品技術を競う学会 **第23回 国際化粧品技術者会連盟(IFSCC)中間大会にて** **ポーラ化成工業が2件の論文を発表します**

ポーラ・オルビスグループのポーラ化成工業株式会社(本社:神奈川県横浜市、社長:三浦卓士)は、9月21日～23日にスイス チューリッヒで開催される第23回国際化粧品技術者会連盟(以下IFSCC)中間大会(Conference)において、口頭発表1件、ポスター発表1件の論文、計2件を発表します。

発表する内容は、今後ポーラ・オルビスグループの商品開発に応用されます。

IFSCCには、世界47カ国・総会員数15,000名以上が加盟しており、加盟者は年々増加しています。化粧品技術者・研究者にとって最も権威のある学会であり、これまでの受賞内容は化粧品の最先端技術として応用・実用化され、化粧品市場の発展を支えてきました。

IFSCCには世界大会(Congress)及び中間大会(Conference)があり、世界大会は2年に1回、西暦偶数年に開催されますが、今回開催される中間大会は西暦奇数年に開催され、特に若手の教育育成及び規模の小さな会員国からの参加を促すことを目的として開催されます。

2014年にパリで開催された第28回世界大会では、ポーラ化成工業が口頭発表基礎部門において最優秀賞を獲得しました。

### 口頭発表

#### ① 論文タイトル:『皮下組織内部の線維構造(retinacula cutis)に着目した、新たな”たるみ”のメカニズムの解明』

英文名: Breakthrough in improving the skin sagging with focusing on the subcutaneous tissue structure, retinacula cutis

発表者: ポーラ化成工業(株) 肌科学研究部 皮膚科学研究室 坂田 綾

概要: 皮下組織(=脂肪層)の中には皮膚支帯(retinacula cutis)と呼ばれる網目状の線維構造が存在し、その構造が頬の”たるみ”に大きく関与することを明らかにしました。今後、さらに詳細な解析を行うことで、皮下組織をターゲットとした新たな”たるみ”の改善につながることを期待されます。

### ポスター発表

#### ② 論文タイトル:『加齢・性ホルモンの影響で起きる皮膚老化に関与する皮膚内プロテオグリカン versican の機能解明』

英文名: Versican: The potent player for anti-aging skin care by compensating loss of sex-hormone effects

発表者: ポーラ化成工業(株) 肌科学研究部 皮膚科学研究室 竹内 啓貴

概要: 加齢や閉経後に現れる皮膚の弾力性低下や老化に、コラーゲンや弾性線維に次ぐ皮膚中の主要な因子であるプロテオグリカン versican が関与していることを解明しました。本成果により、コラーゲンや弾性線維を狙った従来のエイジングケアでは達成できなかった、皮膚老化の改善に成功しました。

#### 【参考】ポーラ化成工業による過去のIFSCC世界大会 受賞歴

2014年	パリ大会	最優秀賞	(基礎研究部門)
2012年	ヨハネスブルク大会	最優秀賞	(ポスター発表部門)
2008年	バルセロナ大会	最優秀賞	(基礎研究部門)
1998年	カンヌ大会	最優秀賞	
1996年	シドニー大会	優秀賞	
1994年	ベネチア大会	最優秀賞	
1986年	バルセロナ大会	優秀賞	



2014年パリ大会での発表の様子

【本件に関するお問い合わせ先】 (株)ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室  
Tel 03-3563-5540/Fax 03-3563-5543